

米国 フロリダ州の2023-24年度産柑橘類は増加の予測

EUROFRUIT 2023年10月13日

米国農務省(USDA)は、2023/24年度柑橘類シーズンの第1回出荷量予測を公表し、フロリダ州ではすべての品目で数量が増加する。

同州のオレンジ総出荷量は、ハリケーンイアンとニコルの影響を大きく受けた2022/23年度に梱包された1,585万箱から2,050万箱に増加すると予測される。農務省によると、バレンシア種以外のオレンジは615万箱から750箱に増加し、バレンシア種は昨年の970万箱から1,300万箱に急増するものと見込まれる。

グレープフルーツは、181万箱から190万箱にわずかに増加し、これは赤肉系の品種165万箱と白肉系の品種25万箱で構成されると見込まれる。

農務省は、タンジェリンとタンジェロの出荷量が今シーズンの48万箱から50万箱に増加すると予想している。

執筆者: カール・コレン

(関連記事)米国 柑橘類第1回出荷量予測

米国農務省農業統計局(2023年10月12日)

フロリダ州農業消費者サービス局との共同発表

柑橘類の種類別出荷量及び予測出荷量 - 州別及び米国計

種類及び州	出荷量 ¹			予測出荷量 ¹
	2020-2021 (1,000 箱)	2021-2022 (1,000 箱)	2022-2023 (1,000 箱)	2023-2024 (1,000 箱)
バレンシア種以外のオレンジ²				
フロリダ州	22,700	18,250	6,150	7,500
カリフォルニア州	41,300	31,500	36,500	37,000
テキサス州	1,000	170	570	450
米国計	65,000	49,920	43,220	44,950
バレンシア種のオレンジ				
フロリダ州	30,250	22,950	9,650	13,000
カリフォルニア州	7,700	7,600	6,700	7,500
テキサス州	50	30	560	350
米国計	38,000	30,580	16,910	20,850
オレンジ合計				
フロリダ州	52,950	41,200	15,800	20,500
カリフォルニア州	49,000	39,100	43,200	44,500
テキサス州	1,050	200	1,130	800
米国計	103,000	80,500	60,130	65,800
グレープフルーツ				
フロリダ州合計	4,100	3,330	1,810	1,900
赤肉系	3,480	2,830	1,560	1,650
白肉系 ³	620	500	250	250
カリフォルニア州 ⁴	4,200	4,100	4,000	3,500
テキサス州	2,400	1,700	2,250	2,200
米国計	10,700	9,130	8,060	7,600
レモン				
アリゾナ州	750	1,250	1,400	1,500
カリフォルニア州	21,400	25,200	26,500	23,000
米国計	22,150	26,450	27,900	24,500
タンジェリン及びマンダリン⁵				
フロリダ州	890	750	480	500
カリフォルニア州	28,800	17,500	23,700	23,000
米国計	29,690	18,250	24,180	23,500

¹ 1箱当たりの正味重量(ポンド) オレンジ: カリフォルニア州 80、フロリダ州 90、テキサス州 85。グレープフルーツ: カリフォルニア州及びテキサス州 80、フロリダ州 85。レモン: 80。タンジェリン及びマンダリン: カリフォルニア州 80、フロリダ州 95。

² フロリダ州では非バレンシアの早生品種(ネーブル種を含む)及び中生品種。カリフォルニア州ではネーブル種及びその他の品種。テキサス州では早生品種及び中生品種。

³ 種有りグレープフルーツを含む。

⁴ カリフォルニア州ではボメロを含む。 ⁵ タンジェロを含む。